

自然と人の共生で煌めく^{しろよね}白米千枚田活性化事業(あぜのきらめき)

自治体情報

石川県輪島市

人口 / 31,244人

標準財政規模 / 12,893百万円

担当課 企画課

電話番号 直通 0768-23-1113

実施主体 輪島市

関連ホームページ <http://wajimanavi.lg.jp/www/index.jsp>

事業期間 平成23年度

関係施策分類 ①、④

予算関連データ

総事業費：14,000千円

名称	所管	金額(千円)
過疎地域等自立活性化推進交付金	総務省	10,000
一般財源	—	4,000

施策のポイント

本事業は、輪島市の貴重な地域資源であり、能登の里山里海を象徴する「白米の千枚田」に太陽光発電機能を具備したLED発光器を設置し、棚田のライトアップと里山里海保全の情報発信を行うものである。全国的にも知名度のある「白米の千枚田」と環境にやさしい自然エネルギーを活用し、環境保護の情報発信を行うことは、これまでに例のない特徴的なものである。

1 取組に至る背景・目的

輪島市は、バブル経済の破綻後、観光客の入込数は減少を続けており、観光産業を基幹産業の一つしていることから、地域活力の減退が危惧されていた。さらに平成19年3月に発生した「能登半島地震」により、本市は、甚大な被害を受け、観光のみならず各種産業は一時的に壊滅的な状況となったところでもある。このような中、特徴的な取組により、地域の活性化に繋がりたいと考えていたところ、自然環境の保護に関する意識は、全国的にも高まりを見せていることから、過疎地域の自然豊かな景観を利用した魅力的な環境保護の取組みは、環境保全の啓発に併せ地域活性化に繋がるものと考えて本取組に至ったところである。

2 取組の具体的内容

美しい景観から高い知名度を有し国指定文化財名勝に指定されている「白米の千枚田」は、多くの命を育ててきた生物多様な里山里海の象徴でもある。本事業は、その千枚田において自然エネルギーの活用によって、環境保護、里山里海保全等の取組について情報発信を行うものである。自然エネルギーである太陽パネルと省エネルギーのLED発光器を自然豊かな白米千枚田のあぜ道に設置し、その光景のすばらしいライトアップの演出によって、地球環境保護、里山里海の保全の必要性、自然と人の共生の大切さの情報発信を行うものである。



あぜのきらめき全景



夏期の白米千枚田

3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

能登半島は、豊かな里山里海と有しており、これらは本年6月に世界農業遺産にも選定されたところである。この豊かな里山里海を保全するため、啓発を図りたいと考えていたところである。さらに、能登半島の重要な観光資源である千枚田の魅力向上にも繋がる取組は、耕作者の後継者不足による耕作放棄も危惧されている中、地元の南志見地区を中心とした地域連携を深め、千枚田自体の保全活動の気運を高めることにも寄与し、平成26年度の北陸新幹線金沢開業に向け、石川県能登半島地域への観光客誘客が大いに期待されるものであると考えている。



小型ソーラーLEDを設置するボランティアの小学生

4 現在までの実績・成果

本事業は、本年度初めて実施する事業であり、LED発光器の設置も平成23年11月12月からとなっているが、事業の推進に当たって、地元との連携は深まり、市民への環境負荷軽減の啓発は進みつつあると考えている。



あぜに設置されたLED

5 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

まず、事業費の確保が課題であった。本市は、決して財政的に豊かな自治体ではなく、財源の確保はすべての事業の実施に当たって常に大きな課題である。環境負荷軽減と里山里海の保全といった取組を重ね合わせ、地域の活性化に繋げたいと検討していたところ、総務省の過疎地域等自立活性化推進交付金に合致するのではないかと考え、提案・申請を行ったところである。



イルミネーションされた千枚田（散策道から）

6 今後の課題と展開

環境負荷軽減、里山里海の保全、市民への啓発といったことは、単年度で完結するものではないと考えており、また、地域の活性化も1つの事業の実施により解決するものではないと考えている。これからも、本事業のような地域振興に資する事業を継続すること、その他の様々な取組の相乗効果により、地域の活性化、振興に繋げて行きたいと考えている。